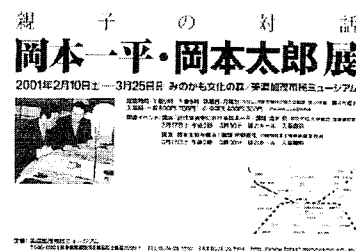


美濃加茂市民ミュージアム開館記念展Ⅳ

親子の対話 岡本一平・岡本太郎展

(1) 趣旨

近代漫画のパイオニアとして知られた岡本一平は、鋭い描写で社会や政治を描き、近代漫画を切り開きました。昭和21年、美濃加茂市古井町へ転居し、昭和23年10月の死に至るまでのおよそ2年間を美濃加茂で過ごし、漫俳(まんぱい)を創始するなどこの地方に文化的影響を与えました。一方、岡本太郎は、一平の子として生まれ、「全存在が芸術だ」として猛烈に生き抜き、社会的にも大きな足跡を残しました。個性ほとばしる二人の世界の一端を「親子の対話として」紹介しました。



(2) 会期 2001年2月10日(土)～3月25日(日)

開催日数 37日間

(3) 観覧料 一般 800 円 (700 円) / 小中学生 400 円 (300 円)

() は、20 名以上の団体料金

(4) 会場 企画展示室、美術工芸展示室

(5) 作品点数 62 点 (岡本一平作品 15 点 岡本太郎作品 47 点)

(6) 関連事業

① 講演会「近代漫画史における岡本一平」

(2月17日(土) 14:00～15:30 / 緑のホール / 入場無料)

講師：清水勲氏(漫画研究家、帝京平成大学教授)

② 講演会「岡本太郎を語る」

(3月17日(土) 14:00～15:30 / 緑のホール / 入場無料)

講師：仲野泰生氏(川崎市岡本太郎美術館学芸員)

③ ビデオ上映会

(2月10、11日 3月10、11日 各回とも 13:00～15:00 / 緑のホール / 入場無料)

※ 上映ビデオ「岡本太郎の芸術 ～その生命の奔流～」

「挑み 生きる 岡本太郎の生涯」

「岡本太郎の宇宙」

「太郎・感動を語る～芸術家・岡本太郎が出会ったもの～」

(7) 図録 『親子の対話 岡本一平・岡本太郎展』 A4判 40頁

